

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 7 巻第 43 号

第 43 週 (10月22日 ~ 10月28日)

発行年月日:平成19年(2007年) 11月 1日

発行 :滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

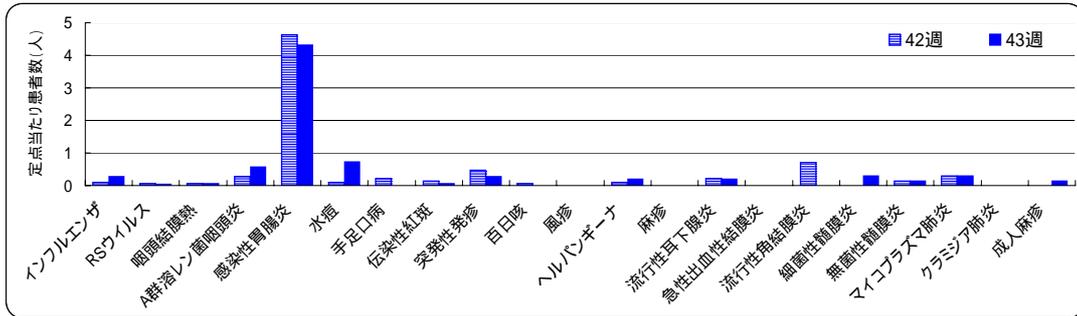
インフルエンザウイルスAソ連型の検出 滋賀県における全数報告感染症の概要(平成19年第41~43週)

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、前週の報告数とほぼ同じです。今週増加した疾患はインフルエンザ、A群溶レン菌咽頭炎、水痘、ヘルパンギーナ、細菌性髄膜炎および成人麻疹で、その他の疾患は減少または横ばいとなっています(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

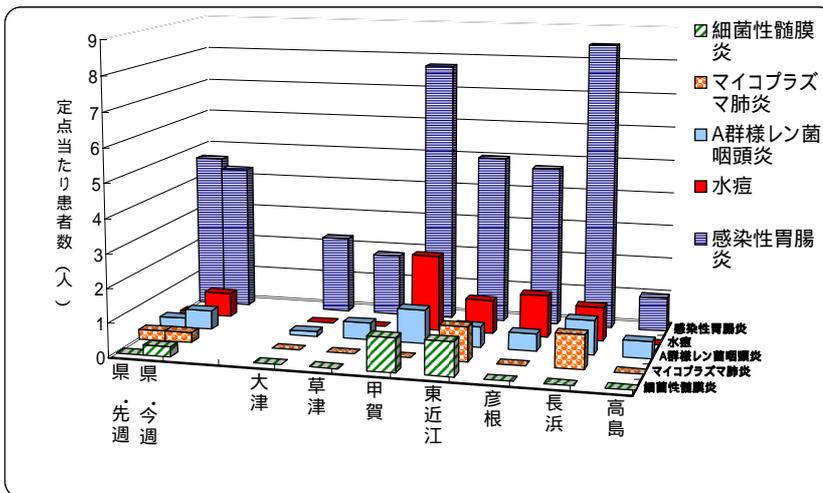
全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で6名、三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症で4名、四類感染症のA型肝炎で1名ならびに五類感染症のアメーバ赤痢で2名およびウイルス性肝炎で1名の届出がありました。

また、インフルエンザについては、平成19年10月17日に採取されたうがい液から**インフルエンザウイルスAソ連型**(インフルエンザAH1型)が検出されました。県内におけるインフルエンザウイルスAソ連型の検出は今回が初めてであり、今後、流行する可能性があるため感染予防に対する注意が必要です。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第43週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、水痘、A群様レン菌咽頭炎、マイコプラズマ肺炎および細菌性髄膜炎の順に多くなっています。

感染性胃腸炎は甲賀および長浜でやや多くなっています。また、水痘は甲賀で急増しています。

インフルエンザに対する一般的な注意

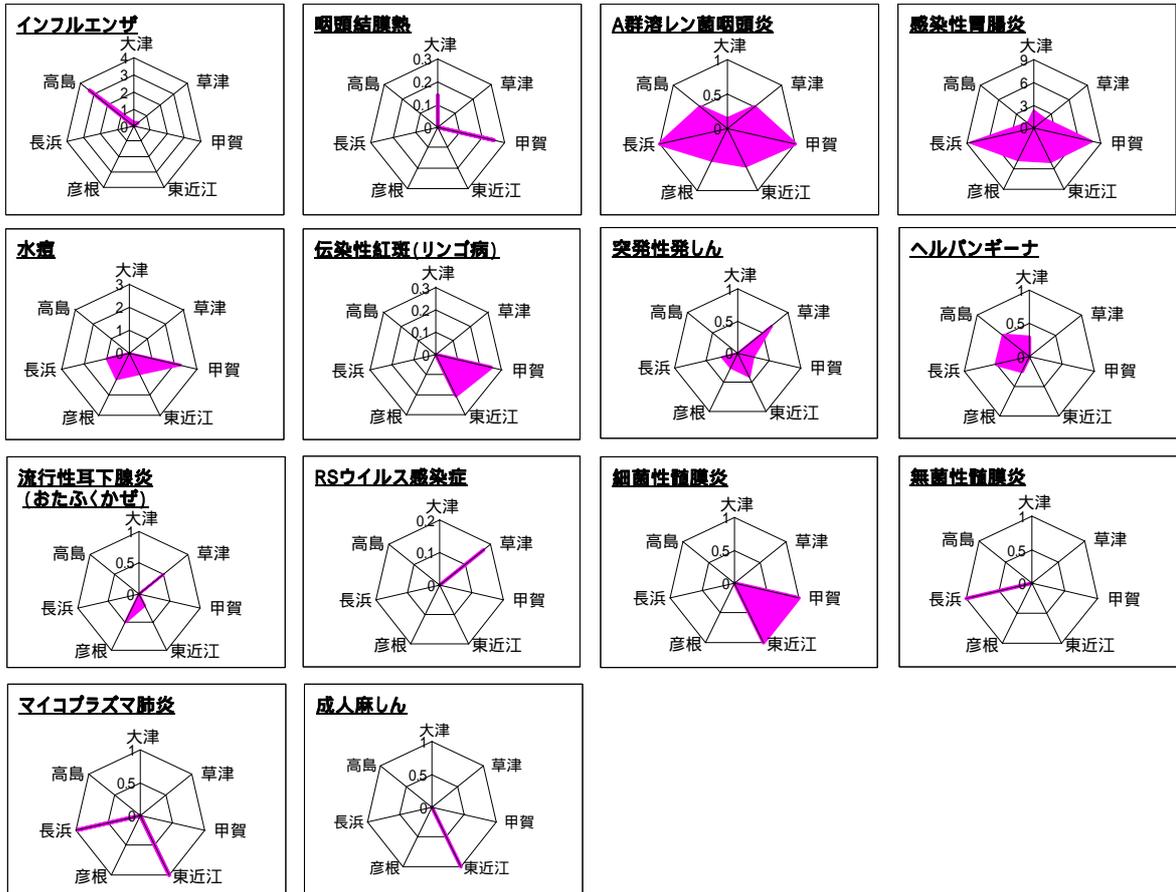
1. 外出時には、**マスク**を使用しましょう。
2. 帰宅時には、**手洗いとうがい**を十分にしましょう。
3. **睡眠**を十分にとり、**栄養**のバランスに気を配りましょう。
4. 加湿器等で、室内を**適度な湿度**(50~60%)にしましょう。
5. **人混み**に出かけることをなるべく**避け**ましょう。
6. **早めに医療機関を受診**し、受診時にはマスクを着用しましょう。

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第43週, 10/22~10/28)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.28	0.18	0.30	0	0	0	0	3.33	
RSウイルス感染症	0.03	0	0.17	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.06	0.14	0	0.25	0	0	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.56	0.14	0.50	1.00	0.60	0.50	1.00	0.50	
感染性胃腸炎	4.31	2.29	1.83	7.75	5.00	4.75	8.50	1.00	
水痘	0.72	0	0	2.25	1.00	1.25	1.00	0	
手足口病	0	0	0	0	0	0	0	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0	0	0.25	0.20	0	0	0	
突発性発しん	0.28	0	0.67	0.25	0.40	0.25	0.25	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.19	0.29	0	0	0	0.25	0.50	0.50	
麻疹(成人麻疹を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.19	0	0.50	0	0.20	0.50	0	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0.29	0	0	1.00	1.00	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0	
マイコプラズマ肺炎	0.29	0	0	0	1.00	0	1.00	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻疹	0.14	0	0	0	1.00	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加
 ■ は警報発生中
 ■ は注意報発生中
 0 1 2 3 4 5
 定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



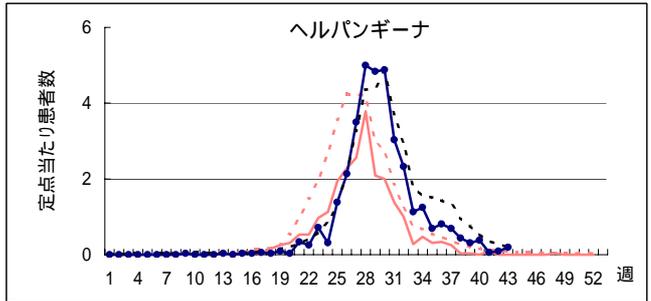
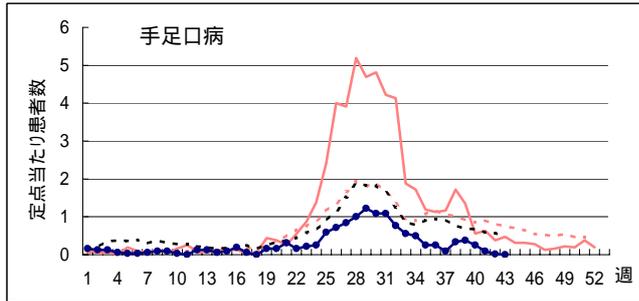
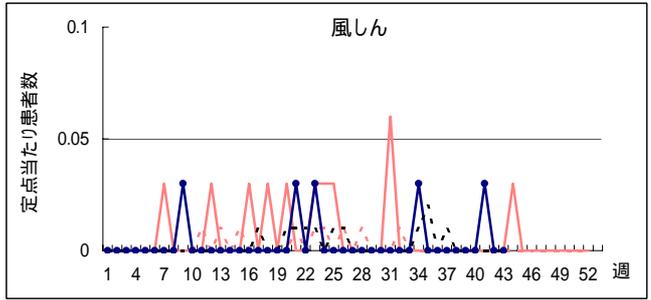
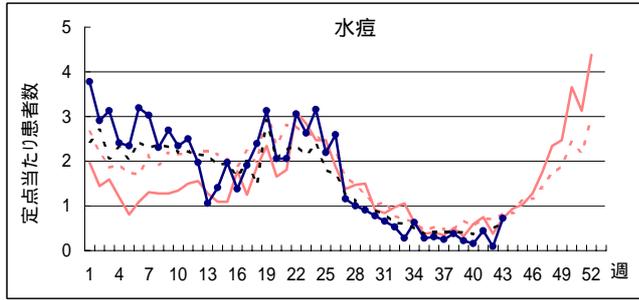
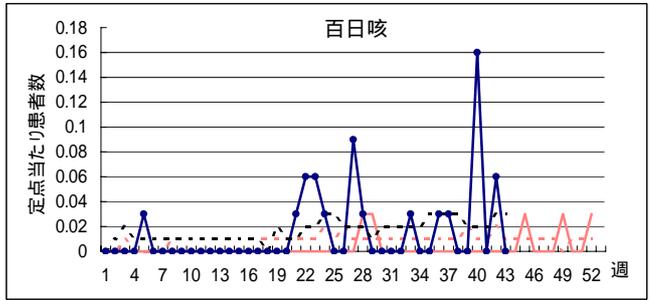
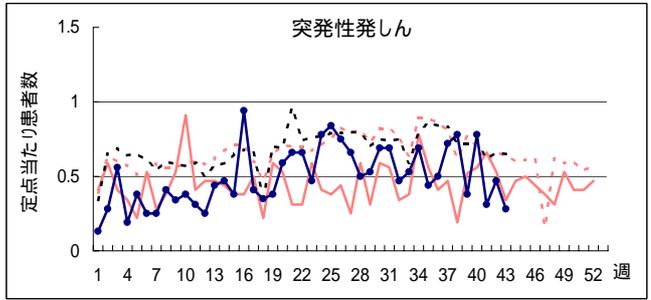
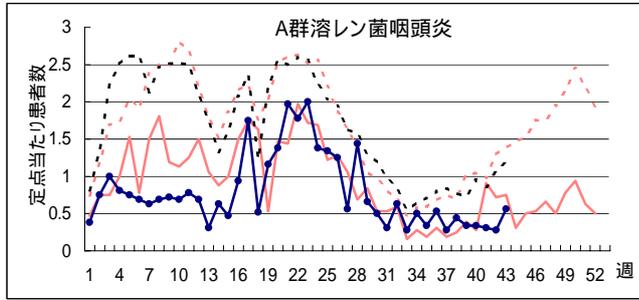
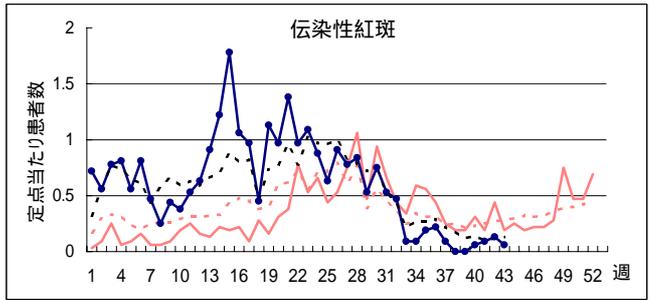
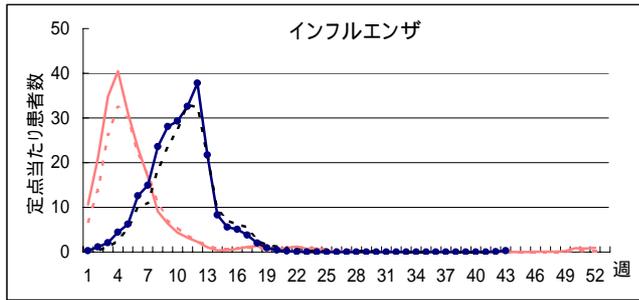
今週の発生状況:

- インフルエンザ-----大津、草津および高島からの報告があり、高島でやや多くなっています。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎---- 草津および東近江以外で先週より多くなっています。
- 感染性胃腸炎-----県全体では先週よりやや減少していますが、彦根および長浜で増加しています。
- 水痘-----県全体では先週よりかなり増加し、特に甲賀で急増しています。
- 細菌性髄膜炎-----甲賀および東近江からの報告があり、B群レンサ球菌が検出されています。
- 成人麻疹-----東近江からの報告があり、年齢は15~19歳です。

滋賀県における全数報告感染症の概要(平成19年第41～43週、10/8～10/28)

感染症類型	疾患名	1～40週の 累積報告数	41～43週の 報告年月日	概 要		
				菌種 血清型等	推定感染地域	推定感染源(原因)・ 感染経路等
一類感染症	報告なし					
二類感染症	結核	130	H19.10.10	肺結核	日本国内	不明
			H19.10.11	肺結核	日本国内	飛沫・飛沫核感染
			H19.10.11	肺結核	日本国内	飛沫・飛沫核感染
			H19.10.12	肺結核	日本国内	飛沫・飛沫核感染
			H19.10.12	肺結核	日本国内	不明
			H19.10.12	肺結核	日本国内	飛沫・飛沫核感染
			H19.10.15	肺結核	日本国内	飛沫・飛沫核感染
			H19.10.16	肺結核	日本国内	飛沫・飛沫核感染
			H19.10.24	肺結核	日本国内	飛沫・飛沫核感染
			H19.10.25	粟粒結核	日本国内	その他
			H19.10.25	肺結核	日本国内	飛沫・飛沫核感染
			H19.10.15	結核性胸膜炎	日本国内	飛沫・飛沫核感染
			H19.10.19	肺結核	日本国内	飛沫・飛沫核感染
			H19.10.26	肺結核	日本国内	飛沫・飛沫核感染
三類感染症	細菌性赤痢 (～H19.3.31は二類感染症)	2 ^(*)	報告なし			
				(*)検査法第26条の3に基づき(検査所長から滋賀県知事への通知)1件を含む		
	パラチフス (～H19.3.31は二類感染症)	1	報告なし			
	腸管出血性大腸菌感染症	44	H19.10.9	血清型:O157 産性毒素型:VT1(+)/VT2(+)	日本国内	経口感染
			H19.10.12	血清型:O91 産性毒素型:VT1(+)/VT2(+)	日本国内	不明
			H19.10.18	血清型:O157 産性毒素型:VT1(+)/VT2(+)	日本国内	不明
			H19.10.18	血清型:O157 産性毒素型:VT2(+)	日本国内	経口感染
			H19.10.25	血清型:O157 産性毒素型:VT2(+)	日本国内	経口感染
			H19.10.25	血清型:O157 産性毒素型:VT2(+)	日本国内	経口感染
			H19.10.25	血清型:O157 産性毒素型:VT2(+)	日本国内	経口感染
				* VT1:ペロ毒素1型 VT2:ペロ毒素2型		
四類感染症	A型肝炎	0	H19.10.26		日本国内	不明
	デング熱	1	報告なし			
	マラリア	1	報告なし			
	レジオネラ症	6	報告なし			
五類感染症	アメーバ赤痢	9	H19.7.24	腸管アメーバ症	日本国内	不明
			H19.7.26	腸管アメーバ症	日本国内	不明
	ウイルス性肝炎	1	H19.10.22	B型	日本国内	不明
	クロイツフェルト・ヤコブ病	4	報告なし			
	後天性免疫不全症候群	7	報告なし			
	ジアルジア症	1	報告なし			
	梅毒	0	H19.10.17	晩期顕症梅毒	日本国内	異性間性的接触
	急性脳炎	2	報告なし			

疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第43週、H19.1.1～H19.10.28)



疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第43週、H19.1.1～H19.10.28)

H18 〔 滋賀 ————
 全国 - - - - -

H19 〔 滋賀 ●—●—●—
 全国 - - - - -

